

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。



<https://www.alfresa.com/ir/index.html>



「統合報告書 2021」

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社



Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group



株主のみなさまへ

2022年3月期 第2四半期報告書
(2021年4月～2021年9月)

証券コード 2784

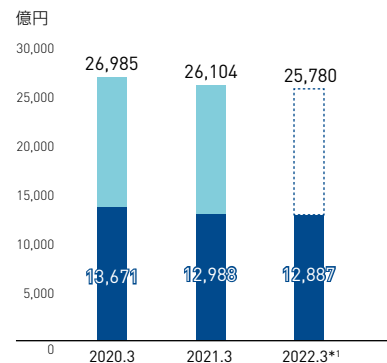


連結財務ハイライト

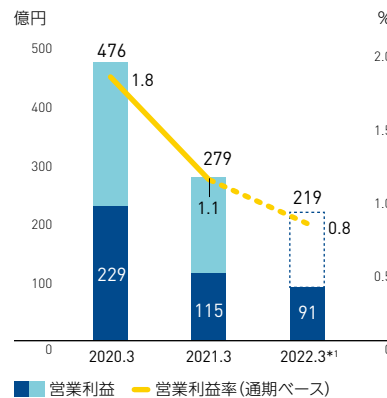
■ 第2四半期 ■ 通期

(注) 売上高、営業利益・営業利益率については、2021年9月期および2022年3月期において「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。また、2020年9月期および2021年3月期においては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

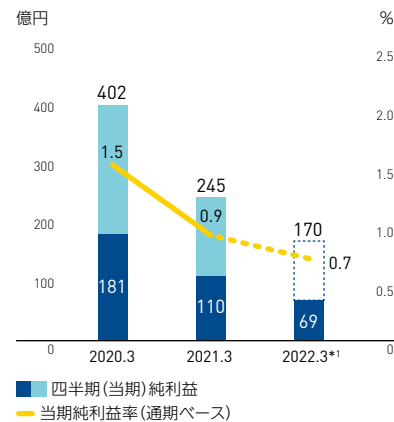
売上高



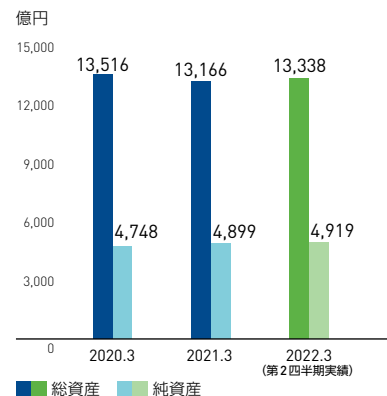
営業利益・営業利益率



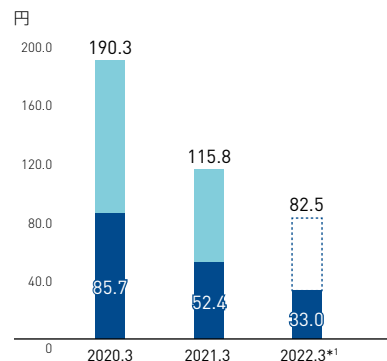
四半期(当期)純利益・当期純利益率*2



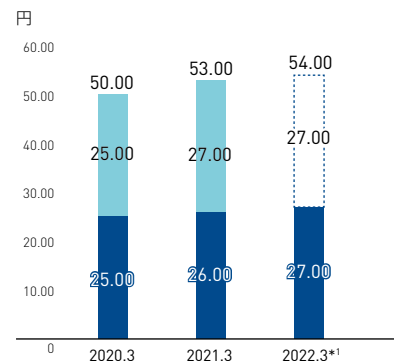
総資産・純資産



1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)



1株当たり配当金



*1 2022.3(通期)は予想値

*2 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(率)

配当について

配当につきましては、連結業績を基準に財務体質の強化や経営基盤の安定性および将来の事業展開等を総合的に考慮し、連結純資産配当率(DOE)2.3%以上を基本方針としております。

この方針に基づき、2022年3月期は中間配当金を27円といたしました。また期末配当金は27円を予定しており、年間配当金は合計54円を予定しております。

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

TOP MESSAGE



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、社会生活はさまざまな制約を受けてきましたが、ワクチン接種率の向上等に伴い、制限が緩和されてきております。当社グループは引き続き感染予防に最大限の注意を払い、医療機関への医薬品等の安定供給に努めてまいります。

当社グループは2022年3月期第2四半期において、薬価の中間年改定の影響を大きく受けました。セグメント別には、医療用医薬品等卸売事業では医療機関における入札指名停止、セルフメディケーション卸売事業では感染症対策商品の反動減、医薬品等製造事業では承継品や感染症迅速診断キットの売上高増加、医療関連事業(調剤薬局事業)では処方箋単価の減少等がみられました。その結果、連結業績は売上高1兆2,887億円(前年同期比0.8%減)、営業利益91億円(同21.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利

益69億円(同37.0%減)の減収減益となりました。配当につきましては、期初の予定通り中間配当金27円といたしました。

2022年3月期通期の業績見通しについては、第2四半期の業績を踏まえ売上高は上方修正、各利益については下方修正を、本年11月4日付けで行いました。なお、安定配当継続の基本方針のもと、年間配当金は54円の当初予想を変更しておりません。

また、同日当社は株主還元の充実と資本効率の向上のため、自己株式の取得を発表いたしました。

現在、2022年4月から始まる新中期経営計画(3カ年)を策定しております。事業の強化とDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、ESGへの取り組み等により、持続可能な社会と持続的な企業価値向上を目指した成長戦略を来春ご案内する予定です。

本年11月9日、当社の連結子会社であるアルフレッサ(株)は、独立行政法人国立病院機構本部が行う九州エリア所在の病院が調達する医薬品の入札に関し、公正取引委員会による立ち入り検査を受けました。株主のみなさまには多大なご迷惑やご心配をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

2019年11月27日に、独立行政法人地域医療機能推進機構を発注者とする医薬品の入札に関して、公正取引委員会による立ち入り検査を受けて以降、私たちアルフレッサグループは、法令・諸規則・社会規範等を遵守し、断固とした決意をもって再発防止の取り組みを続けています。

今後とも、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

荒川隆昭

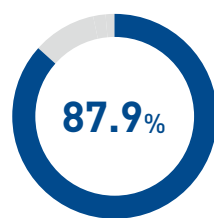
第2四半期の事業別業績

(注) 売上高、営業利益については、2021年9月期において「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。また、2020年9月期においては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

連結売上高 **1兆2,887億円** (前年同期比0.8%減) 連結営業利益 **91億円** (前年同期比21.0%減)

医療用医薬品等 卸売事業

売上高構成比率



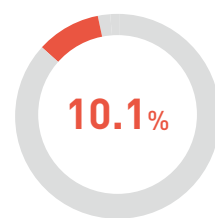
売上高
1兆1,333億円

営業利益
70億円

薬価の中間年改定、独占禁止法違反による医療機関における入札指名停止および不採算取引の見直し等により、売上高1兆1,333億円(前年同期は1兆1,393億円)、営業利益70億円(同96億円)となりました。

セルフメディケーション 卸売事業

売上高構成比率



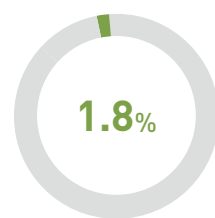
売上高
1,299億円

営業利益
10億円

前年に需要が増加した新型コロナウイルス感染症予防関連商品(マスクや除菌関連商品等)の反動減、および物流関連費用の増加等により、売上高1,299億円(前年同期は1,341億円)、営業利益10億円(同17億円)となりました。

医薬品等 製造事業

売上高構成比率



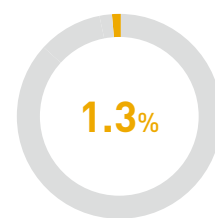
売上高
228億円

営業利益
10億円

新型コロナウイルス抗原迅速検査キットの販売、新たな医薬品の承継、また受託製造が堅調であったこと等により、売上高228億円(前年同期は204億円)、営業利益10億円(同73百万円)となりました。

医療 関連事業

売上高構成比率



売上高
167億円

営業損失
2億円

長期処方の減少、薬価の中間年改定の影響がありました。合併に伴う店舗数の増加等により、売上高167億円(前年同期は166億円)、営業損失2億円(同営業損失2億円)となりました。

事業トピックス

事業の拡充と発展

ヤマト運輸(株)との業務提携による新たな配送システムの構築

アルフレッサ(株)は、2020年より業務提携しているヤマト運輸(株)*1とともに、ビッグデータとAIを活用したヘルスケア商品*2の配送業務量予測システムと配車計画システムを開発し、2021年8月から導入しています。

アルフレッサ(株)がこれまでに蓄積した販売・物流・商品・需要トレンド等のビッグデータをAIで分析し、顧客ごとの配送業務量を予測します。また、この情報をもとにヤマト運輸(株)の物流や配車に関するノウハウ、渋滞等の道路情報を活用して、効率的かつ安定的な配車計画を自動的に作成します。配送の業務量が多い時にはヤマトグループの配送リソースも機動的に活用し、これまで以上に安定した配送を実現できます。さらに、アルフレッサ(株)が展開している、医療機関への納品時に検品作業が不要な「パッケージ納品」を今回のシステムに加え、デジタル機能の活用による事前検品を増やすことで医療機関における対面作業時間を大幅に短縮することが可能になります。

これらのシステムにより、配送生産性を最大20%向上、走行距離およびCO₂排出量を最大25%削減、医療機関における対面作業時間を最大20%削減できると予想しています。首都圏の支店から導入し、アルフレッサ(株)の他の支店へ順次拡大していく予定です。

*1 2020年7月の締結当時はヤマトロジスティクス(株)。

*2 ヘルスケア商品：医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器、医療材料、診断薬等

抗けいれん剤「ミダフレッサ® 静注 0.1%」の 成人への適応追加

アルフレッサ ファーマ(株)は、専門医等からの強い要望を受け「ミダフレッサ® 静注 0.1%」(一般名：ミダゾラム)を開発し、2014年9月に「てんかん重積状態」を効能・効果とした小児に対する用法・用量の承認を取得しました。その後、関係機関からの助言や医師へのアンケート結果から、15歳以上の患者様にも本剤が必要であることを認識し、臨床試験を経て、2020年10月に追加の承認申請を行い、2021年9月、同剤について、成人への適応追加の承認を取得しました。同社は、今後も付加価値の高い製品の研究開発に取り組み、多様な医療ニーズに対応できる製品を提供していきます。



ミダフレッサ® 静注 0.1%

再生医療 ベンチャーとの資本提携

2021年8月、アルフレッサ(株)による再生医療等製品を開発するNCメディカルリサーチ(株)への出資を発表しました。

NCメディカルリサーチ(株)は、独自の製造プロセスを用い、ヒト骨髄由来間葉系幹細胞(MSC)*1を原材料とした再生医療等製品「NCS-01」の開発を行っています。この製品は、急性期脳梗塞*2を適応症とした臨床試験を米国で進めており、日本においても年内の治験届提出を目指しています。

またアルフレッサ(株)は、再生医療等製品の流通に関して、治験の段階から製品の上市に至るまでの全ての過程をサポートする体制を整備し、再生医療等製品に特化した企業との資本業務提携などを通じて、治験製品や再生医療等製品の保管・輸送の実績・ノウハウを蓄積しています。

今回の出資により、NCメディカルリサーチ(株)は「NCS-01」の国内治験をさらに推進します。また、本出資時に、両社は同製品上市後の国内独占流通契約を締結しました。

*1 間葉系幹細胞(MSC)：成体内に存在する幹細胞の一つで、骨や軟骨、血管、心筋細胞に分化することが報告されています。

*2 急性期脳梗塞：現在の急性期脳梗塞の治療は血栓溶解療法が主流ですが、治療開始が発症後4.5時間以内に限定されるなど、適応基準を満たす必要があるため、脳梗塞治療には利便性と効果を兼ね備えた革新的な治療法が求められています。



世界初のスマートマスク
「C-FACE」

機能拡張型スマートロボット
「cinnamon」

ロボット技術を活用した 医療分野の課題解決への取り組み

2021年5月、アルフレッサ(株)は、ロボット技術の特長とするドーナツロボティクス(株)と資本業務提携を締結しました。

ドーナツロボティクス(株)は、これまでに受付・見守り・防犯等の機能拡張型スマートロボット「cinnamon」のほか、8カ国語対応の翻訳機能等を持つ、世界初のスマートフォンと連携できるスマートマスク「C-FACE」を開発・発売しています。

今回の資本業務提携の締結により、両社は共同でワーキンググループを立ち上げ、ロボット技術とデジタル技術を活用した医療分野における社会課題の解決を目指し、ソリューションの開発を進めています。

「アルフレッサグループ環境方針」を策定しました

環境問題は、世界的に共通して克服すべき重要な課題です。2021年4月、当社は「アルフレッサグループ環境方針」を策定し、当社グループにおける環境へ取り組む姿勢を明確にしました。今後も、環境課題解決への取り組みを推進するとともに、当社グループの持続的な成長につなげていきます。

アルフレッサグループ環境方針

1. 基本理念

アルフレッサグループは、健康関連領域で事業を展開する企業グループとして、人々の健康や暮らしに影響を与える地球環境問題を、経営上の重要課題の一つとして認識しています。

「すべての人々が健康に暮らせる社会」の実現に向け、環境関連法令等の遵守はもとより、積極的に環境負荷低減および環境課題解決へ貢献していきます。

2. 対象別方針

1) 気候変動への対応

CO₂をはじめとする温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの積極的利用等に取り組めます。

2) 資源循環型社会の実現

資源調達から製造・流通・廃棄・リサイクルまでのバリューチェーンの全ての過程において、資源の効率的な利用や再生可能資源の積極的な利用等、資源循環に努めます。

3) 環境汚染防止への対応

大気汚染防止や化学物質排出削減、汚水浄化等、環境汚染防止に努めます。

4) 生物との共生

事業活動が生物多様性に及ぼす影響に配慮し、保護・保全・復元に取り組めます。

5) 環境コミュニケーション

目標を持った取り組みを推進して積極的に情報を開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

策定日：2021年4月1日

「えるぼし認定(2段階目)」を取得しました

2021年8月、アルフレッサ メディカルサービス(株)は、厚生労働大臣が女性活躍推進法に基づき、女性の活躍促進に関する取り組み状況などが優良な企業を認定する「えるぼし認定(2段階目)」を取得しました。同社は、女性が活躍できるステージの拡大推進により、5つの評価項目のうち「採用」「労働時間等の働き方」「多様なキャリアコース」の基準を満たしました。これからも社員が生きがいと誇りを持って働ける会社であり続けるべく、取り組みを進めてまいります。

本認定は、2020年におけるアルフレッサ ファーマ(株)の「えるぼし認定(3段階目)」に続き、当社グループで2社目の取得となります。

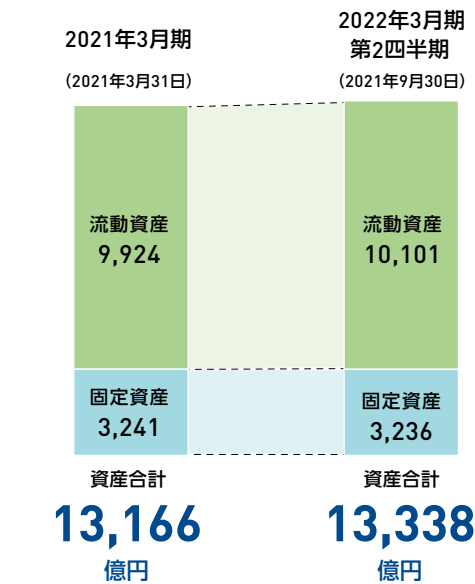


アルフレッサ メディカルサービス(株)が
認定を取得した「えるぼしマーク」

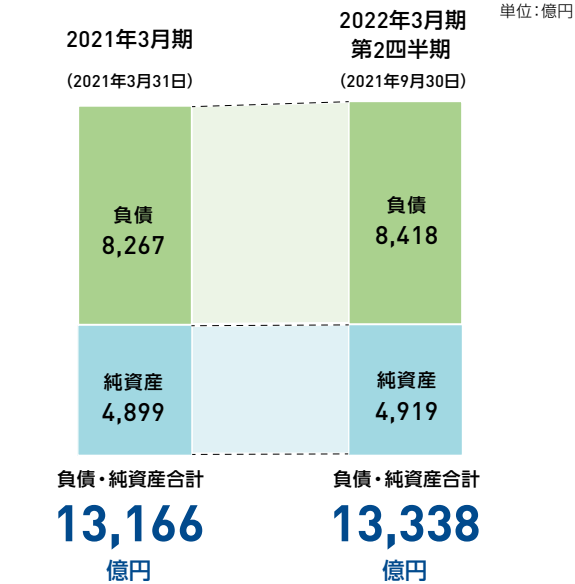
第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)

(注) 売上高、売上総利益および営業利益については、2022年3月期第2四半期において「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。また、2021年3月期第2四半期においては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

四半期連結貸借対照表



POINT	資産
資産は2021年3月期末と比較して、171億円の増加となりました。	
流動資産：+176億円	
現金・預金・有価証券	+69億円
受取手形・売掛金	+84億円
固定資産：△5億円	
投資有価証券	+9億円
無形固定資産	△9億円



POINT	負債・純資産
負債は2021年3月期末と比較して、151億円の増加となりました。	
流動負債：+203億円	
支払手形・買掛金	+89億円
未払法人税等	+35億円
固定負債：△52億円	
繰延税金負債	△34億円
純資産は2021年3月期末と比較して、20億円の増加となり、自己資本比率は36.9%となりました。	
純資産：+20億円	
利益剰余金	+13億円
その他有価証券評価差額金	+6億円

四半期連結損益計算書および業績予想

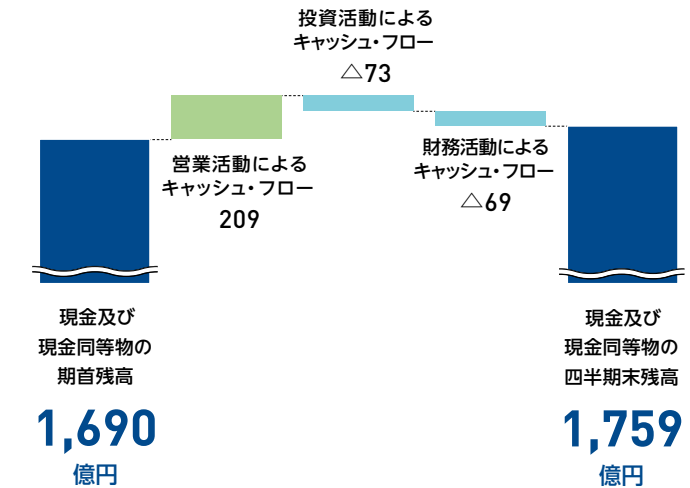
科目	2021年3月期 第2四半期 (2020年4月1日～9月30日)	2022年3月期 第2四半期 (2021年4月1日～9月30日)	増減額	通期予想 (2021年11月4日修正)
売上高	1,298,803	1,288,706	△10,097	2,578,000
売上総利益	88,891	87,336	△1,555	180,300
営業利益	11,535	9,117	△2,417	21,900
経常利益	13,559	10,956	△2,603	25,500
四半期(当期)純利益 ^{*1}	11,097	6,988	△4,108	17,000

*1 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2022年3月期第2四半期(2021年4月1日～9月30日)

単位:億円



POINT キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、第2四半期累計期間において69億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー：209億円の収入

税金等調整前四半期純利益	+103億円
減価償却費	+59億円

投資活動によるキャッシュ・フロー：73億円の支出

有形固定資産の取得による支出	△61億円
投資有価証券の取得による支出	△8億円

財務活動によるキャッシュ・フロー：69億円の支出

配当金の支払額	△57億円
---------	-------

株式情報 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	14,491名

大株主

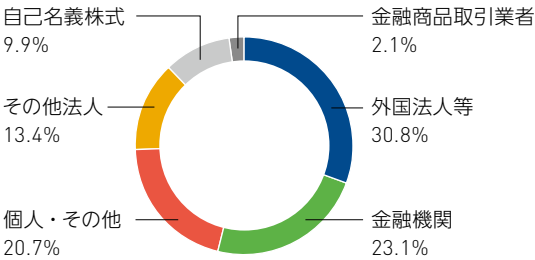
順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,229	12.4
2	アルフレッサ ホールディングス株式会社	23,345	—
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,688	4.6
4	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,574	4.1
5	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,965	2.8
6	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,641	2.7
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	4,277	2.0
8	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	1.8
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,624	1.7
10	株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	3,515	1.7

当社の格付・選定情報

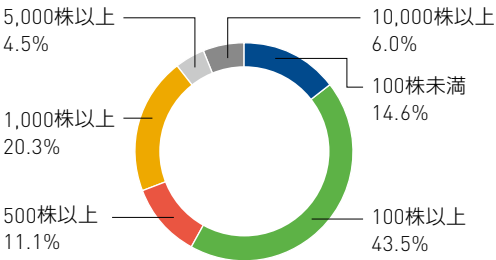
- 格付：A+ <安定的> (株)格付投資情報センター

「JPX日経インデックス400」構成銘柄
- 「Fortune Global 500」2021年版 494位

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要 (2021年9月30日現在)

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	12,102名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社

医療用医薬品等卸売事業
アルフレッサ株式会社
四国アルフレッサ株式会社
ティーエスアルフレッサ株式会社
明祥株式会社
株式会社琉葉
東北アルフレッサ株式会社
アルフレッサ メディカルサービス株式会社
アルフレッサ篠原化学株式会社
セルフメディケーション卸売事業
アルフレッサ ヘルスケア株式会社

取締役および監査役	
取締役会長	久保 泰三
代表取締役社長	荒川 隆治
取締役副社長	泉 康樹
取締役専務執行役員	岸田 誠一
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役	福神 雄介
取締役(社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役(社外取締役)	原 大
取締役(社外取締役)	木下 学
取締役(社外取締役)	竹内 淑恵
常勤監査役	桑山 賢治
常勤監査役	尾崎 正和
監査役(社外監査役)	神垣 清水
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓

医薬品等製造事業
アルフレッサ ファーマ株式会社
青島耐絲克医材有限公司
アルフレッサ ファインケミカル株式会社
サンノーバ株式会社
医療関連事業
アポクリート株式会社
情報システムの運用・保守および開発事業
アルフレッサ システム株式会社